

放射線

全ての物質は目に見えない粒子（原子）からできていますが、原子の中には不安定な状態で存在し、自然に壊れて安定した原子に変わるものがあります。このときにエネルギーをもつ電磁波や高速の粒子が放出されます。放射性物質とは放射線を放出する物質で、放射線を放出する能力を放射能といいます。放射性物質はもともと地球上に岩石などの形で存在し、それ以外にも、宇宙空間で生まれたエネルギーが地球上の酸素や窒素に衝突することでも日々生じており、放射線は宇宙や地上、空気中、食べ物の中など身近なところにあるものです。また、放射線は特殊な性質があり、レントゲン写真を撮る技術、医療器具の殺菌、遺伝子組換えの技術などに応用されています。

このように放射線は様々な分野で利用されていますが、放射線を浴びすぎると健康に悪影響をおよぼすことが分かっており、人への影響度はシーベルト(Sv)という単位で評価されます。具体的には1年間で100 Svのリスクが1.08倍になるといわれています。ちなみに、癌になるリスクは通常日本人が浴びている放射線量の平均は年間1.5 mSv(1500 μSv)で、世界平均では2.4 mSv、放射線量の多いブラジルは10 mSvです。なお、100 mSvよりも少ない放射線を浴びた時の健康への悪影響はよく分かっていません。これは、長い年月をかけてがんの発

生率の調査をしても、がんは様々な原因でなるため、100 mSv以下の放射線と見込まれる地域を計画的避難区域として管理しています。また、飲食物は放射性物質の厳しい基準に合格したもの以外は出荷できないため、健康に悪影響を与える可能性のあるものが市場に出回ることはあります。

放射線への対策として、国は1年間に浴びる放射線量が20 mSvに達すると見込まれる地域を計画的避難区域として管理しています。また、飲食物は放射性物質の厳しい基準に合格したもの以外は出荷できないため、健康に悪影響を与える可能性のあるものが市場に出回ることはあります。

生率の調査をしても、がんは様々な原因でなるため、100 mSv以下の放射線と見込まれる地域を計画的避難区域として管理しています。また、飲食物は放射性物質の厳しい基準に合

格したもの以外は出荷できないため、

健康に悪影響を与える可能性のある

ものが市場に出回ることはありませ

ん。



私達の身の回りにはいろいろな毒が存在しています。生活必需品においても、間違った使い方をすればとても、間違った使い方をすればとなるものがあります。毒のあるものは化学物質、細菌、カビ、キノコ、植物、虫、貝、魚、爬虫類などさまざまです。このうち、化学物質以外はすべて細胞からできており、いわば生物です。生物の持つ毒は多様であり、誤った対処をすると命に関わる場合もあります。

細菌やカビなどの微生物は病原体かを食べて健康を害した場合、広義の食中毒と考えますが、患者が感染源となり、さらに感染を広げてしまうような場合は「経口感染症」として対処し、さらなる感染を防ぐ必要があります。例えば、ノロウイルスが原因の食中毒は、感染症としての側面と食中毒としての側面を持つことがあります。しかし、何にしても食中毒の基本的な予防策は、食前、調理前に手を洗うこと、しっかりと加熱ができるだけ早く食べることです。また食器使用後は直に洗浄し、スポンジは熱湯消毒し乾燥させることも重要です。

でもあり、その毒素に汚染された食品を食べると食中毒が起こります。このため、調理時の衛生管理、殺菌・消毒の徹底が必要です。臭いや味が変わった食べ物は避け、生食には気を付けましょう。

虫や爬虫類の場合は刺されたり、咬まれたりすることで毒が体内に入ります。適切な応急処置と速やかな治療で救命できることが多いのですが、アナフィラキシー・ショックという命に関わるアレルギー反応が起こることもあるため軽視できません。キノコは毒キノコとの見分けがつきにくいため、誤食事故が多く発生します。野草や山菜など植物の場合でも、不十分な調理や食用となる植物との誤食による中毒事例がたびたび発生します。他にも、青梅は加工せずに食べると胃の中でシアノ化水素(青酸ガス)が発生するため、生食は控えましょう。

魚貝類の毒の中では、フグの持つテトロドトキシンが有名でしょう。

ただし、テトロドトキシンはフグだけ

やテトロドトキシンのように加熱しても分解されない、あるいは解毒法がない毒は数多く存在します。毒から身を守る手段として、「毒のありえないを嗅がない、口にしない」ことを知つておきましょう。

毒のありそうなものに

触れない
近づかない
においを嗅がない
口にしない

ホームページはこちら!▶ <http://drug-kusatsuya.com>

ゆっくりと
相談の
できる薬局

草津屋薬局



熊本市南区川尻1丁目3-13
(営業時間)8:30~21:00
(定休日)毎週日曜日

TEL(096)357-9311